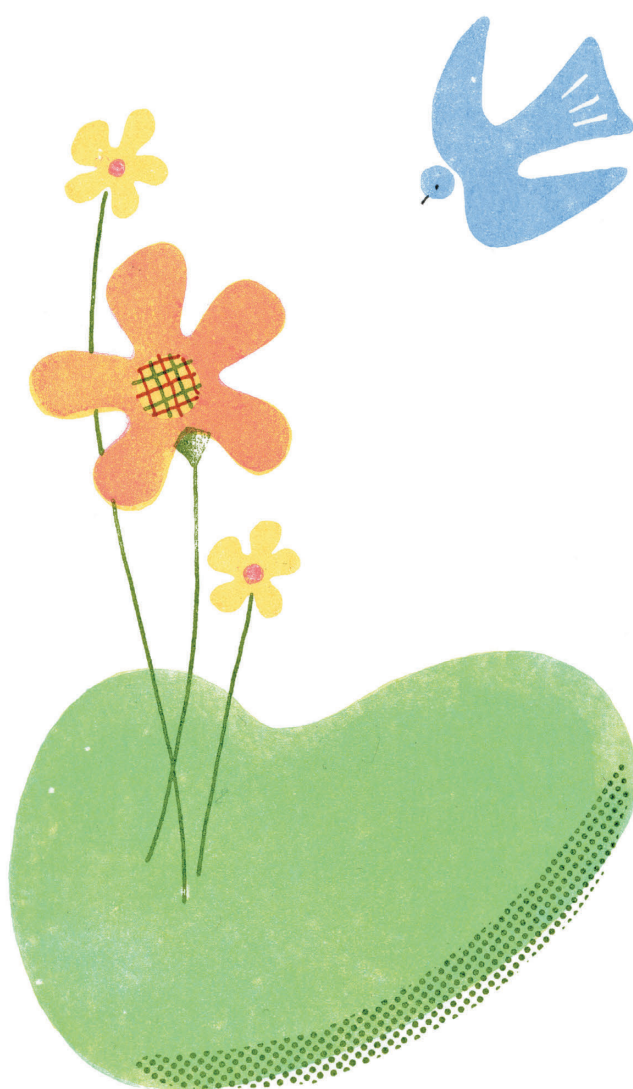


入院案内

入院日は 月 日 曜日 です
 時 までに1階(受付)へお越しください

入院される患者様へ



 **岐阜ハートセンター**

循環器内科／心臓血管外科／内科／麻酔科
リハビリテーション科／形成外科



入院が決まりましたら

岐阜ハートセンターは、『Safety (安全)、Specialty (専門技術)、Spirit (こころ)、System (体制)』の4つの『S』を理念に診療をしております。

入院中は何かとご不自由なことも多いと思いますが、お互いに力を合わせて、健康の回復・維持・増進に努めましょう。

入院の手続きについて

○入院当日は1階〔受付〕へお越しください。入院日が休診日の場合はあらかじめ外来でご案内いたします。

(個室をご希望の患者様は事前に看護師にお知らせください。)

○提出書類に必要事項を記入・捺印の上、入院病棟のスタッフステーションにご提出ください。

入院時の持ち物について

入院に必要なもの

- 1 診察券 2 健康保険証・マイナンバーカード
- 3 公費や福祉医療の受給者証・限度額認定証(お持ちの方) 4 入院申込書(提出書類①)
- 5 連帯保証誓約書(提出書類②) 6 基準寝具貸与返納記録・寝具類交換記録(提出書類③)
- 7 現在服用中の薬・お薬手帳 8 着替え 9 時計
- 10 洗面用具(歯ブラシ、石鹸、歯磨き粉、タオル、ヘアブラシ、洗面器 等)
- 11 日用品(プラスチック製コップ、ティッシュペーパー 等)
- 12 イヤホン(テレビ視聴時に使用)は、個人用をご用意ください。売店(1階)にて販売もしております。
(4床室のテレビはイヤホンを使用していただく設定になっております。)
- 13 寝衣(当院では入院時必需品(入院セット) レンタルシステム(寝衣・タオル・日用品の一部)の用意がありますので、よろしければご利用ください。)
- 14 室内用くつ(室内用くつの詳細はP.12 安全で快適な入院生活を過ごしていただくためにを参照。)
※電気ポット・加湿器・電気ストーブ等の電化製品、及びハサミ・ナイフ・カッター・ライター等の危険物のお持ち込みはお断りします。

入院時必需品(入院セット:アメニティセット) レンタルシステムについて(450円(税込)/日)

- ・当院では、入院患者様の身の回りの衛生環境の向上と、院内外の感染予防対策、洗濯などの負担軽減を目的とした入院セット(寝衣・タオル・日用品の一部)をご利用いただけます。
- ・入院セットは当院から運営管理会社に委託し、患者様と委託業者との直接契約になります。
- ・詳細は別紙「アメニティセットのご案内」をご覧ください。また、アメニティセットにご加入の場合、上記10 11 12 13のご用意は不要となります。

○持ち物の収納場所に限りがあります。お荷物は最小限でお願いします。

○持ち物には必ず氏名を記入してください。

○日用品については、院内の売店(1階)でもお求めいただけます。

入院時のお願いについて

○お化粧やマニキュアは落としてきてください。顔色や爪の色を観察します。

○紛失の恐れがありますので装飾品(指輪・ネックレス・ピアス 等)は外してお越しください。

入院患者様へのマスク着用のお願について

下記の状況下において、不織布マスクの着用をお願いしております。

- 病室外に出るとき。
- 医療従事者が患者様のもとを訪ねたとき。
- 咳、くしゃみなどの症状があるとき。
- 病室内で、面会者と会話をするとき。
- 病室内で、同室者との距離が2メートル程度維持できないとき。

不織布マスクの準備について

- マスクは患者様ご自身でご準備ください。院内の売店（1階）でもお求めいただけます。

マスクの正しい着用方法、交換について

- マスクは表・裏、上・下を確認し、鼻から口全体を覆うように着用してください。着用方法に不安がある場合は、ご遠慮なく看護師にお尋ねください。
- マスクの交換は毎日交換を推奨いたしますが、準備が間に合わないなどの場合は、1枚あたり最長3日を限度として交換してください。また、マスク表面に汚れがある場合は適宜交換してください。

その他

- 症状によりマスク着用が難しい患者様もおられることにご理解をお願いいたします。

服用中の薬について

- 他の病院や薬局で処方されたお薬がある場合など、服用中の薬（軟膏・点眼・インスリン等含む）はお薬手帳とともに全て入院時にご持参ください。確認させていただきます。
- 健康食品・サプリメントとの飲み合わせ、アレルギー歴、副作用などについても確認させていただき、入院治療がスムーズにいくようにサポートいたします。

入院中の他院の受診について

入院中に、かかりつけ医や他の医療機関を受診する際には、『入院中』であることを証明する書類が必要となります。常用されているお薬がなくならないようにご持参ください。

以下の場合には、受診前に看護師または事務へお知らせください。

- 入院中に、かかりつけ医の医療機関を受診したい。
- 薬がなくなるため、受診したい。
- 家族が代わりに薬をもらうために受診したい。
- 外出・外泊中に医療機関を受診したい。

お部屋について

お部屋は4床室、個室、特別室となっています。4床室、個室は病状に応じて病院が決めさせていただきますのでご希望に添えない場合もございます。個室をご希望の方はお申し出ください。但し、お申し込みをいただきましても直ちにご用意できないことがありますのでご承知ください。なお、病状により病室を替わっていただくことがありますので予めご了承ください。（P.10 自費料金についてを参照）

転倒転落防止対策について

入院生活を送る病院の環境は住み慣れた自宅と異なります。生活環境の変化と病気による体力の低下から、思いがけず転倒転落事故が起こることが少なくありません。当院では、患者様を事故から守るために転倒転落防止対策を行っております。（P.12 安全で快適な入院生活を過ごしていただくためにを参照）



入院中の生活は

入院中の生活について

○日課

食事時間	朝 8:00 昼 12:00 夜 18:00
入浴時間	9:00～16:30まで使用できます。(入浴前に看護師にお声をかけてください)
消灯時間	22:00

- 入室の際は、備え付けの擦式消毒剤で手指消毒を励行してください。
- 確認の上、病室前の廊下には名札を表示しています。個人情報保護法の遵守につきましてはできる限りの努力を致しておりますので、お名前の表示等に関しご希望がありましたら職員にご相談ください。
- 消灯時間は22:00となっております。消灯後に病棟を離れる場合は、看護師に必ず声をかけてください。
- 外出・外泊を希望される場合は所定の手続きが必要ですので、看護師にお申し出ください。許可時間内に帰室できないような事態が生じたときは、ご連絡ください。(P.6 外出・外泊についてを参照)
- 各ベッドに備え付けのテレビ、及び冷蔵庫は無料でご利用いただけます。
- テレビ・ラジオはイヤホンをご使用ください。イヤホンは売店（1階）にて販売しております。
(4床室のテレビはイヤホンを使用していただいております。)

売店（1階） 月～金曜日 8:00～16:30 土曜日 8:00～13:00 日曜日／祝日 休み

- コインランドリー（4階）が設置してあります（有料）。洗剤等はあらかじめご用意ください。
なお、病室内での干し物をご遠慮ください。
- 院内へのアルコール飲料の持ち込みと、院内での飲酒・喫煙は禁止しております。
- 電気ポット・加湿器・電気ストーブ等の電化製品、及びハサミ・ナイフ・カッター・ライター等の危険物の
お持ち込みはお断りします。
- 非常の場合の避難経路を確認しておいてください。
- 入退院支援担当看護師が入院から退院まで継続的に関わらせていただきます。
- 退院日につきましては、病状・治療の状態に合わせてこちらから指定させていただくことがありますので、
ご協力をお願いします。
- その他お困りごとやお気付きの点がありましたら、ご遠慮なく職員にお申し出ください。
また、院内設置の「ご意見箱」もご利用ください。

【電話の取り次ぎに関して】

個人情報保護法に基づき、電話での病状説明や外部からの電話の取り次ぎはできませんのでご了承ください。

診療・看護について

- 診療・看護については医師・看護師の指示をお守りください。
- 治療・看護に関する疑問やご希望がありましたら、お気軽にご相談ください。
- 当院は受け持ち看護体制で、24時間を交替で看護しています。
- 当院にご入院中の患者様は、原則他院で診療を受けたり処方を受けることはできません。やむを得ず受診が
必要になる場合は病棟スタッフにご相談ください。(P.2 入院中の他院の受診についてを参照)
※家族の方のみでの他医療機関の受診はご遠慮ください。
- 病状により病室、病棟の変更に協力いただく場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

安全のためのお名前確認について

当院では医療事故を防ぎ、患者様に安全な医療・看護を提供するために、以下の方法でご本人確認をさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

- 患者様ご本人であることを確認するためにリストバンド（手首に巻いて使うバンド）を入院時から装着していただいております。
 - ・リストバンドには氏名・生年月日などが記入してあります。検査のときや薬をお配りするときなどにお見せください。患者様のご様子により、足首に装着していただくこともあります。
 - ・このリストバンドの文字は水や洗剤で消えることはありません。リストバンドの取り外しは医師・看護師にお任せください。また、装着中に湿疹やかゆみ、不快感がありましたら看護師にお申し出ください。
- 患者様を間違えないために、入院中の診察や検査・レントゲン撮影・注射・採血・手術・処置の際にもお名前や生年月日などを何回も確認させていただきます。ご自身のお名前は「姓・名」でお答えください。
- 点滴ボトル、内服薬等にご自身の氏名が書かれているか、職員と一緒に確認していただきますようご協力ください。

お食事について

食事は治療の一環として病院で調理したものを召し上がっていただきます。食事場所は安静の指示がない場合、スタッフステーション横ラウンジでお召し上がりいただくことも可能です。

朝 食 8:00～

昼 食 12:00～

夕 食 18:00～

- 配膳の都合で多少前後いたします。
- お食事は患者様の症状にあわせて病院で用意いたします。病院の食事以外のものについては、その都度受け持ち看護師にご相談ください。
- 食事は一定額のご負担がございますので、退院・外出・外泊等の際は病棟看護師にお申し出ください。
- 食物アレルギーのある方は事前にお申し出ください。
- 食べられない食材のある方はご相談ください。
- お弁当や菓子類等の持ち込みはご遠慮ください。

電話・携帯電話の利用について

病院内では携帯電話を必ずマナーモードにしてください。使用はラウンジにてお願いします。職員が使用しているPHSは一般の携帯電話と異なり医療機器への影響はないため、常に使用しております。ご了承ください。

- 公衆電話は、1階・3階・4階にあります。
- 各病棟には現金で使用する公衆電話があります。10円硬貨をご準備ください。
 - ※テレホンカードは使用できませんのでご注意ください。
- 携帯電話はマナーモードにし、使用される時は他の方の迷惑にならない場所でご使用ください。※「使用可能エリア」につきましては看護師にお尋ねください。
- 大部屋での通話はご遠慮ください。



面会について

面会時間は下記の通りです。患者様の安静・治療・看護のため時間をお守りください。なお、面会時には入院病棟スタッフステーションにて看護師に声をかけてください。咳の出る方、お子様、多人数での面会をご遠慮ください。

面会時間 14:00～20:00

- 面会はラウンジをご利用ください。
- 同室の患者様の迷惑にならないようご配慮ください。
- 患者様の状態や都合により、お断りすることやお待ちいただくことがあります。
- 面会（お見舞い）をお望みでない患者様は病棟師長までお申し出ください。
- 患者様が安静に入院いただける療養環境を保つため、以下の面会・行為はご遠慮ください。
 - お子様連れの面会。（状況によってはラウンジを利用しての面会になります。）
 - 咳、発熱等の症状がある方の面会。 • 長時間の面会。 • 大人数での面会。
 - 面会時間外の面会。 • 病室内での飲食。
- 患者様の状態や感染症の流行時期によってはマスクの着用が必要となります。
- 面会時間外の面会は診療の都合上、お断りさせていただきます。患者様の身体的負担や周りの患者様への配慮として、面会時間内の面会にご協力をお願いします。また、必要な診察、検査、リハビリなどの医療行為が適時受けられるよう、面会者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

付き添いについて

患者様の症状によりご家族が付き添い希望をされる場合は、医師または看護師にお申し出ください。付き添い申請書へのご記入をお願いしております。

- 当院は受け持ち看護体制で、24時間を交替で看護しています。ご家族の付き添いについては、病状により異なりますので、医師・看護師にご相談ください。
- 付き添いいただく場合は「家族付添許可申請書」による申請が必要です。（手続きは看護師が説明いたします。）

付き添い寝具（ベッド） 330円（税込）／日

- 病気や入院による環境の変化のため、患者様が、日頃の生活からは予測できないような状態になってしまう場合があります。私ども病院スタッフ一同、入院中の事故防止に細心の注意をはらい、患者様によりよい医療を安全に提供できるよう心がけております。しかしながら、ご家庭におけるほど十分に目が届かない事があり、ご家族にご協力をお願いすることもあります。ご理解とご協力をお願いします。

※例えば次のような場合です。

- 病状により一人での用便や歩行を禁じていてもご自分でベッドから降り、常に転倒・転落の危険性がある。
- 点滴の針やチューブ、尿道に留置したチューブ、鼻を通して胃や腸に留置したチューブ、その他治療のためお腹や胸に挿入してあるチューブなどを無意識のうちに抜いてしまう。
- とくに夜間、自分が入院していることを忘れてしまい、突然家に帰ろうとしたり、病院を出て行ってしまったりする。
- とくに夜間、混乱状態や不穏状態でじっとできず、安静の指示にしたがっていただけない。
- 普段から徘徊されるなどの認知症状等がみられる。

等

敷地内禁煙について

当院は受動喫煙の防止（健康増進法第25条）に努め、病院敷地内全面禁煙（駐車場を含む）となっております。ご協力をお願いいたします。

外出・外泊について

外出・外泊される場合は、医師の許可が必要です。許可が出ましたら所定の手続きが必要になります、事前に看護師にお申し出ください。また、予定時間内に必ず帰院してください。

（予定時間内に帰院できない事態が生じた場合は、電話等で必ず看護師に連絡ください。）

※18:00以降、入口は自動ロックが掛かりますので、インターホンでお知らせください。

セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンは、診断内容や治療方法に関して他の医療機関の専門医から意見や判断を聞くことができるものです。診断料は、各医療機関が決めた自費の料金となります。（健康保険は使用できません。）

ご希望がありましたら、ご遠慮なく主治医または看護師にお申し出ください。

病状説明について

○医師や看護師から、病気のことや、検査・手術・治療方法について、文書等により十分説明いたします。不安な点や疑問の点、ご要望があれば遠慮なくお聞きください。

○病状説明には、医師のほかに看護師、医療ソーシャルワーカーが同席させていただくことがあります。

○患者様以外に病状説明を受ける方を、あらかじめ決めておいてください。

○患者様の個人情報を守るために、電話でのお問い合わせや、親戚・知人等からのお問い合わせには基本的にお答えしておりません。

○別途、病状説明の面談を希望する場合は、病棟看護師にお申し出ください。（平日時間内を原則とさせていただきます。）

自己決定の権利について

輸血・人工呼吸器・胃ろう・臓器提供等に関する意思表示やご希望がある場合は明確にお示しください。

寝具について

寝具は病院備付のものを使用していただきます。寝具類は定期的に交換しております。汚染した場合はいつでも交換しますので看護師にお知らせください。

貴重品について

保険証や金銭・貴重品等の管理は備え付けのセーフティボックスをご利用ください。鍵は紛失しないようご注意ください。貴重品等は基本的に患者様ご自身で管理してください。

※万が一盗難等が発生した場合は責任を負いかねます。

○盗難防止のため、病院には多額の現金や貴重品をお持ちにならないでください。

○身の回りでお使いになる時計やメガネ、補聴器、義歯などの持ち物は、基本的に患者様ご自身で管理してください。

退院について

入院時から退院に向けての支援を行っております。退院後の生活について不安なこと、お困りのことなど、いつでもご相談ください。

○退院のめどが立ちましたら医師から患者様にご相談のうえ、退院日が決まります。

入院患者様の円滑な受け入れのため、退院時間は午前中をお願いしております。

○退院に向けて、患者様、ご家族様を交えて調整会議を行う場合があります。会議の時間は平日時間内を原則としておりますのでご協力をお願いいたします。

○退院予定時間になりましたら、病棟スタッフにお声掛けください。

○医師・看護師から、退院後の生活について説明があります。

退院後に服用される薬がある場合は、担当薬剤師又は看護師よりお薬をお渡ししますので忘れずにお持ちください。

○退院時のお会計（平日・土曜 午前）は、1階会計窓口にてお支払いください。

（P.9 お支払いについてを参照）

病院からのお願いについて

○地震・火災など非常事態が発生したときは、病院職員の誘導指示に従ってください。

○非常口、非常階段などはあらかじめご確認ください。

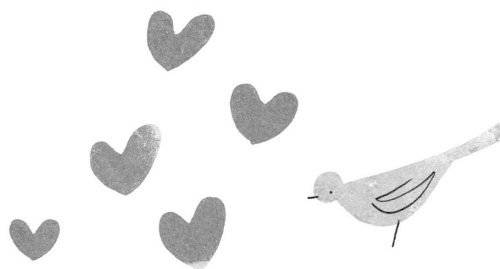
○避難の際には、エレベーターは絶対に使用しないでください。

○職員に対し金品等のお心遣いは固くお断りいたします。

○他の患者様、及び職員に対しての迷惑行為や診療の妨げになる行為（暴言・暴力・セクハラ等）は慎んでいただくようお願いいたします。なお、迷惑行為や診療の妨げになる場合は診療をお断りさせていただく場合がございます。

○許可なく写真や動画を撮影すること、及び音声を録音することをお断りいたします。

○当院は厚生労働省指定臨床研修病院、及び医師・薬剤師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士の養成学校で学ぶ学生の実習病院です。また、岐阜市救急救命士研修機関でもあります。研修・実習等へのご理解とご協力をお願いいたします。





集中治療室のご案内

集中治療室では、重症な患者様の治療・看護を24時間体制で行っています。患者様の感染予防や安全確保のために、持ち物や面会の制限をさせていただきます。

面会について

集中治療室では、午前・午後の2回面会時間を設けています。1回の面会には、患者様の安静保持のため、1家族3名程度でお願いします。

午 前

11:00～11:30

午 後

15:00～15:30

面会方法

各病棟スタッフステーションにてお声をかけてください。

準備ができ次第ご案内いたします。なお、携帯電話の電源はお切りください。

面会に関するご注意

○処置などをしている場合は、お待ちいただく場合があります。

○15歳以下のお子様、風邪などをひかれている方は面会をご遠慮ください。



面会時の感染予防にご協力ください

院内での感染予防をするには、手指衛生、手洗いが最も大切です！

次のあとには、**手指衛生**または**手洗い**を行ってください。

- ・病室に入る前、病室からでたあと
- ・食事の前
- ・トイレのあと
- ・くしゃみで手をおさえたあと、鼻をかんだあと



手指に目に見える汚れがなければ、擦り込みの手指消毒液をお使いください。
(全ての病室の前に設置してあります)



手指に目に見える汚れがある時は、石けんと流水による手洗いをおすすめします。

体調がすぐれない場合や感染症にかかっている場合は面会をご遠慮ください。



お支払いについて

入院費（支払方法、高額療養費制度）について

- 入院中の費用は、月末で締め切り計算し、翌月の10日頃に請求書をお渡しいたします。また、月の途中で退院される場合は、退院日までの分を計算してお渡しいたします。
- 原則、当日払いをお願いします。1階会計窓口をご利用ください。お支払方法は現金、クレジットカード（JCB・アメリカンエクスプレス・VISA・マスターカード）等もご利用できます。
- 期日中にお支払いできない方は、医事担当までお知らせいただくか、看護師にご相談ください。
- 土日、祝日に退院される場合は、後日郵送にて請求させていただきます。
- ご本人様（患者様）と請求先（郵送先）が異なる場合は、看護師または医事までお知らせください。
- 入院費用、請求内容、70歳未満の方の高額医療費に関する事前申請についてのご質問、及び生命保険の診断書をご希望の方は、下記時間内に1階受付へご提出をお願いいたします。

平 日 8:30～17:30

土曜日 8:30～12:00

医療費について

- 健康保険で診療を受けたときは、かかった医療費の一部を一部負担として会計窓口でお支払いいただきます。窓口負担の割合は、年齢などに応じて次のようになっております。

75歳以上 (後期高齢者／65歳以上の 寝たきり等の患者含む)	1割 一定以上所得者：2割 現役並み所得者：3割	それぞれ自己負担限度額が定められていますので、窓口での負担は定められた額までですむようになっています。 但し、現役並み所得者：3割の方につきましては限度額適用認定証により、窓口負担額が軽減される場合があります。
70～74歳 (高齢受給者)	2割 現役並み所得者：3割	
6歳・4月以降～69歳 (義務教育就学)	3割	窓口での支払いが高額になりそうな場合は、事前に「限度額適用認定証」の交付を保険者に申請することをお勧めします。 これにより窓口での支払いは自己負担限度額までとなります。
6歳・3月末以前 (義務教育就学前)	2割	

※上記一部負担に加えて、1食460円の食事療養標準負担額をいただいております。

(例：10日間入院された場合、460円×3食×10日＝13,800円)

※住民税が非課税世帯の方は、食事療養負担の減額制度があります。

- 同じ症状による通院のご入院が180日を超えますと、保険外併用療養費として、患者様に入院料の一部をご負担していただくことがあります。詳細につきましては、医事課入院係までお問い合わせください。
なお、他の医療機関にご入院されていた患者様で、退院証明書をお持ちの方は医事課までご提出ください。
お持ちでない方は入院時にその旨をお申し出ください。
- また、当院入院中は、原則他院への受診や薬の処方を受けることはできません。必要な場合は、必ず担当の医師・看護師にご相談ください。

自費料金について

○健康保険適用外の料金が別途発生します。個室に入室された場合の差額室料は次のとおりとなります。

(下記金額は消費税込みです。)

特別室 1 (3階)	22,000円
特別室 2 (4階)	25,300円
特別室 3 (4階)・特別室 5 (3階)・特別室 6 (4階)	28,600円

設備：浴室、トイレ、キッチン、応接セット、テレビ(無料)、
冷蔵庫(無料)、電話(有料)、洗面所、朝刊サービス

317号室～319号室・415号室	11,000円
-------------------	---------

設備：シャワー、トイレ、テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、洗面所

311号室～314号室、327号室～329号室	6,600円
-------------------------	--------

設備：トイレ、テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、洗面所

304号室～308号室・320号室～326号室 404号室～407号室・416号室～422号室	5,500円
--	--------

設備：トイレ、テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、洗面所

4床室	0円
-----	----

設備：テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、仕切りキャビネット家具

診断書・証明書について

1 階受付にて診断書等の受付手続きをしております。原則として、退院時または退院後にお申し込みください。作成には2週間～4週間程かかります。事情により作成が遅れる診療科もございますのでご了承ください。また、休診日のご提出はご遠慮願います。

各種診断書料金

- 入院証明書 5,500円(税込)
- 身体障害者手帳診断書 3,300円(税込)
- 当院書式診断書 2,200円(税込) 等



連帯保証人について

○当院への入院にあたっては、株式会社イントラストを連帯保証人とする連帯保証人代行制度スマホスNEXTを保証料のご負担なしでご利用いただけます。

患者様は原則、個人の連帯保証人をご準備いただく必要はございません。

○入院申込書（兼 連帯保証誓約書）の提出をもって、株式会社イントラストを連帯保証人とする保証委託にお申し込みいただいたものとします。

○入院費を支払い期日までにお支払いいただけなかった場合にのみ、入院申込書（兼 連帯保証誓約書）の記載内容等の個人情報について、連帯保証代行制度の運営に必要な範囲で株式会社イントラストへ提供させていただきますので、予めご了承ください。



その他について

駐車場のお願い

○外来患者様の駐車場の確保、入退院時の運転によるお身体への負担や安全等を考慮し、原則として入院患者様の駐車場は準備しておりません。可能な限り公共交通機関でお越しください。

院内サービスのご案内

- 売店(1階) 月曜日～金曜日 8:00～16:30 / 土曜日 8:00～13:00
- お飲み物の自動販売機は、外来待ち合いと各病棟東側ラウンジにあります。
- 郵便ポストは正面玄関前にあります。
- ATMの設置はございませんのでご注意ください。



ご相談・ご意見について

患者相談窓口のご案内

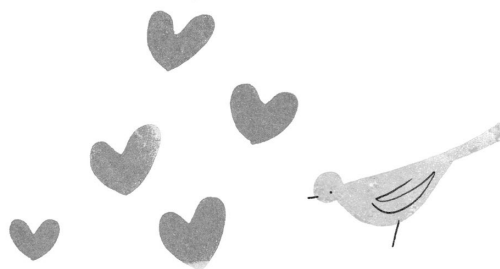
病気やけがをすると様々な心配ごとや困りごとが起こることがあります。ご遠慮なく職員にお申し出ください。担当者が患者様、ご家族の皆様に安心して医療を受けていただけるよう、一緒に問題を考えていきます。

○このような時はどうぞご相談ください

- 診療についての相談
- 医療安全に関すること
- 入院中の療養に関する疑問
- 食事や薬に関する質問
- 病院施設に関する問題
- 退院後の生活や介護についての不安
- 直接には言いづらい苦情や提言
- 医師や看護師等が自分のことをわかっているのか不安に思う
- 医療費について、使える社会保障制度についての相談
- 直接には言いづらい苦情や提言

入院患者様アンケート「ご意見箱」について

各病棟のラウンジ、及び外来1階に「ご意見箱」が設置してあります。よりよい病院づくりのために患者様からのご意見・ご要望をお伝えください。



安全で快適な入院生活を過ごしていただくために

～ 転倒転落防止対策に御協力をお願いいたします ～

入院生活を送る病院の環境は、住み慣れた自宅と異なります。生活環境の変化と病気による体力の低下から、思いがけず転倒転落事故が起こることが少なくありません。

当院では、患者様を事故から守るために以下のような転倒転落防止対策を行っております。

1. 患者様の転びやすさを入院時に調べます。大変転びやすい危険な場合には、防止用具を使用させて頂くことがございます。
2. 履き慣れた靴をご準備ください。院内の売店（1階）でもお求めいただけます。
3. お部屋入口のお名前の横に右のようなシールを貼り、医療スタッフチームで見守ります。
4. 転倒転落を防止するためには、患者様のご協力が欠かせません。
 - くつのかかとを踏んで歩かない。
 - 手助けが必要なときは、無理せず看護師を呼ぶ。など、ご自分でもできる防止策を実行しましょう。



スリッパ・サンダル
クロックス 等



運動シューズ
介護シューズ 等

転倒注意を
促すシール



転んでからでは遅い

スリッパやサンダルは止めましょう

スリッパやサンダルは脱げやすく、思わぬ所でつまずいたりしやすいので、ちゃんとした靴を履きましょう。



ベッドからの起き上がり、夜のトイレは足元に注意して

ベッドから起きあがるとき、特に夜間にトイレに行くときは足元に十分注意しましょう。

枕元の明かりをつけて移動しましょう。



床は濡れていないか、階段はないか確認して歩きましょう

床が濡れていますと滑りやすく危険です。配膳車の周囲やトイレ、洗面所など水回りでは特に注意しましょう。



院内での転倒予防のために

手すりや杖を利用しましょう

廊下や階段は手すりを持って移動しましょう。大丈夫と思っていても、寝ていますと体力は落ちています。



足元がふらつく作用がある薬を飲んでいませんか？

眠れないときの薬を飲むと、体に力が入らないことがあります。寝る支度をすませてから飲みましょう。

また、眠れないからといって勝手に量を増やすことは止めましょう。



不安な時は、主治医、看護師に相談しましょう

不安なときは、主治医、看護師に遠慮なく相談しましょう。

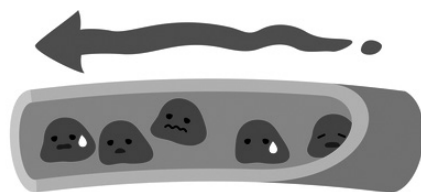


肺血栓塞栓症予防に関する説明

【予防の目的】

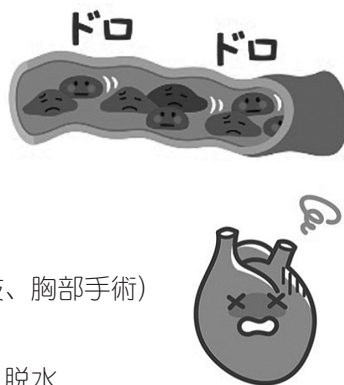
長い時間下肢を動かさないでいると、足の太い静脈（深部静脈）に血のかたまり（深部静脈血栓）ができることがあります。

この血のかたまり（血栓）が怖いのは、足を動かした時などに剥がれて血流によって肺までとび、肺の血管をつまらせてしまう（肺血栓塞栓症）ことです。この病気が発症すると、肺から血液への酸素の取り込みができなくなり、10～30%の人が亡くなる怖い病気で予防が重要です。長時間飛行機に乗った時に見られるエコノミー症候群が知られている病気ですが、入院中の手術後による安静や発熱、絶食による脱水などにより、血液が固まりやすくなり、この肺血栓塞栓症が起きやすい状態となります。



【肺血栓塞栓症になりやすい人、なりやすい手術】

- 高齢者
- 下肢静脈血栓症の病歴、肥満、妊婦、経口避妊薬の常用
- 基礎疾患、多血症、悪性腫瘍、脳血管障害、心疾患
- 手術部位に関連して
 - ・手術部位（骨盤内、下腹部、下肢、胸部手術）
 - ・手術時間（1時間以上）
 - ・手術後長期安静、止血剤の使用、脱水



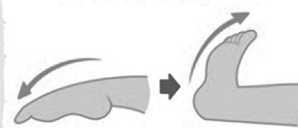
【予防法】

予防としては、ベッド上で横になった状況でも手足の曲げ伸ばしを行い、術後早期から歩くなど離床を心がけることが大切ですが、弾性ストッキングの着用や間欠的空気圧圧迫装置という機器を用いて手足を間欠的に圧迫して血流を促進させる方法や抗凝固薬剤を使って予防する方法などもあります。

当院では、手術・血管造影等を受けられる方に静脈血栓塞栓症予防のために弾性ストッキングの着用や間欠的空気圧圧迫装置を使用することがあります。ただし、手術部位や点滴部位によっては使用ができない場合があります。弾性ストッキングは患者様の足に合ったサイズを選択する必要がありますので、看護師がお渡しします。

寝たままできる 血栓予防

つま先の上げ下げ



指先グーパー



足首を回す



ただし、これらの方法で静脈血栓塞栓症の危険性を減らすことができますが、早期離床が何よりの予防法であり、リハビリを含め、患者様の早期の回復、退院に向けてお手伝いさせていただきます。

ご不明な点がございましたら、いつでも医師、看護師にお尋ねください。

せん妄に関する説明

【せん妄とは】

せん妄とは、「全身状態が悪い」「手術の後」「環境の変化」「脱水・感染・貧血・薬物」などが原因で、一定期間意識が混乱することです。

【せん妄のときはこんな変化や特徴があります】

- 意識がぼんやりしている。
- もうろうとして話しのつじつまが合わない。
- 朝と夜を間違える。家と病院を間違える。家族の事がわからない。
- 治療していることを忘れて、点滴などのチューブ類を抜いてしまう。
- 怒りっぽくなり、興奮する。
- 見えないものを見えると言う(幻視)、あり得ないことを言う(妄想)。
- 夜になかなか眠られず、日中に寝てしまう。
- 症状は急に生じることが多く、夜になると症状が激しくなる。
- 転倒・転落などの危険が高まる。



注：すべての方に見られるわけではありません。

【せん妄になりやすい方】

- 高齢者
- お酒の量が多い方
- 認知症あるいは普段から物忘れの多い方
- 視力低下の方や難聴のある方
- 以前にせんもうになったことのある方

せん妄の多くは一時的なもので、大半は体の回復に伴って改善していきます。

せん妄は体の症状のひとつであり、「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」ではありません。ぼけてしまったとか、精神病になったわけでもありません。ただし、せん妄症状を治療していかないと、本来治療している体の病気が悪化することや新たな合併症が起こり、入院期間が延長することがあります。

こんなケアや工夫をします

ご家族にご協力していただきたいこと

- ご家族様がそばにいて、安心して落ち着かれることがあります。混乱した会話であっても、ご家族様ならわかることもあります。
- ご家族様の顔が何よりの薬です。できるだけそばにいてくださると、患者様も安心されます。

本人を尊重した会話をこころがける

- つじつまの合わない会話であっても否定したり、指摘したりしない。
- 混乱した会話であっても、訴えたいことがあるため、ゆっくり会話して内容を把握する努力をする。
- せん妄時のことは、本人は覚えていないことが多く、後からそのときの様子を本人に話したりしない。「暴れて大変だった」など。

場所や時間の感覚をとりもどすために

- 時間やカレンダーを見えるところに置く
- なじみのある物（メガネ・食器・パジャマ等）を持参する。
- ご家族様や可愛がっているペットの写真を見えるところに置く。
- 日付や時間を何気なく会話の中に取り入れる。
「入院して〇日になりましたね」
「手術して〇日経ちましたね」 など。

環境・睡眠・覚醒のリズムを整える

- 昼間はカーテンを開け日光を取り入れ明るくし、適度な刺激（テレビ・会話・リハビリ・散歩）をする。
- 昼間に寝てしまわないように話しかける。
- 内服薬や点滴などで興奮を鎮め、夜間寝れるようにすることも必要。

安全を守る

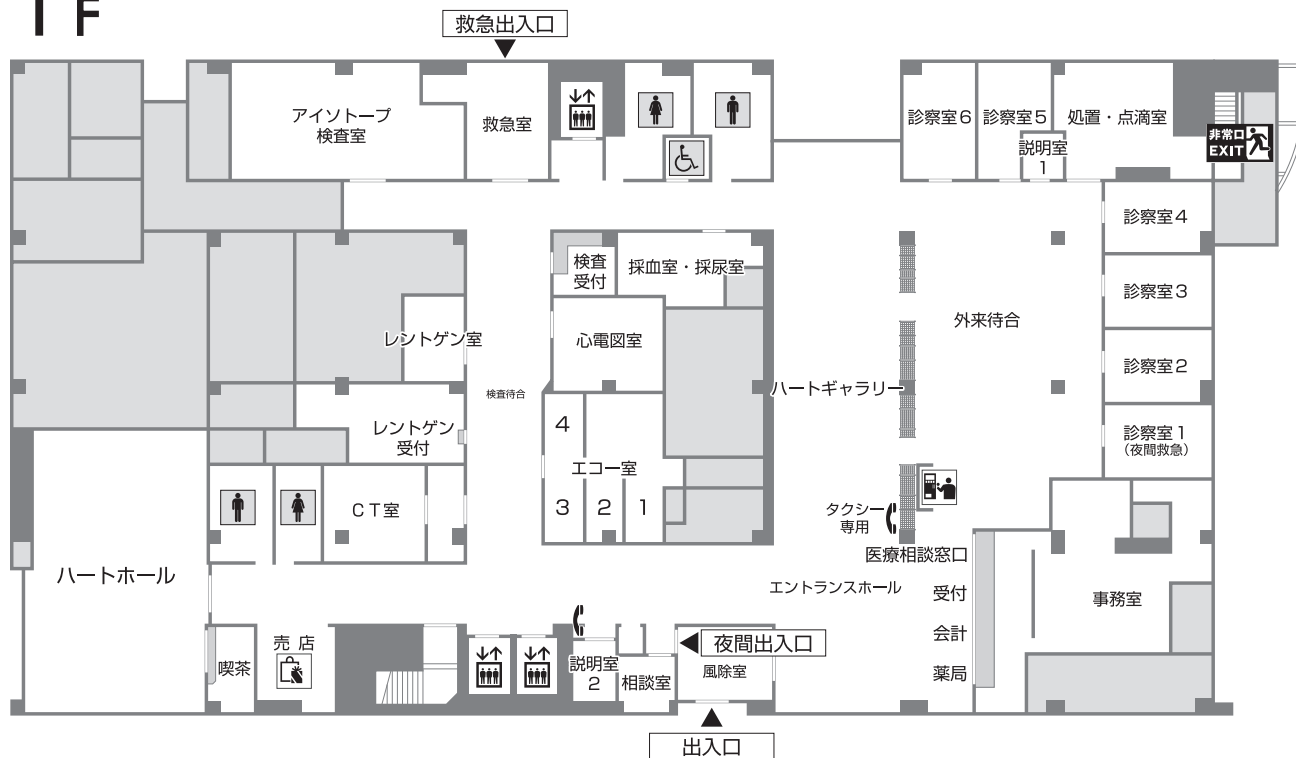
- 鋭利な物（ハサミ・つめ切り）を患者様の周りに置かない。
- 転倒・転落予防のため、ベッドを低くする。ベッド柵を付ける。ベッドの周囲の環境を整える。
- 離床センサーを設置する。
- ミトンを着用する。

疼痛・苦痛の緩和につとめる

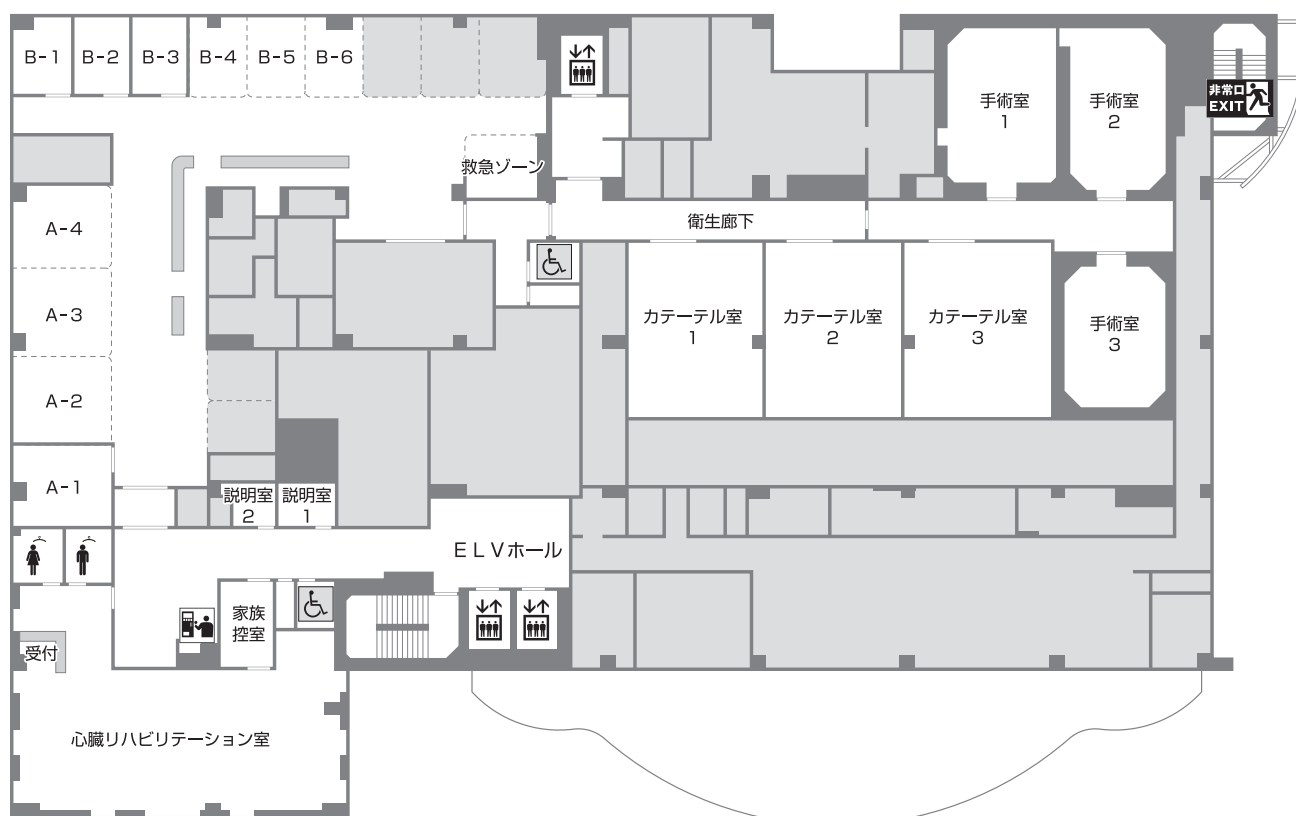
- 痛みや苦痛の表現の仕方は患者様によって違います。落ち着かない場合は苦痛を伴っていることがあります。
- 苦痛には「痛い」「息苦しい」「だるい」「かゆい」「便秘」「眠れない」「気持ち悪い」などがあり、患者様によってはうまく表現できないことがあります。
- 痛み止めを使用するなど、患者様の状態をみながら対応していきます。
- 眠れない時や落ち着かない時は、睡眠薬や気持ちが落ち着く薬を使います。

院内フロアマップのご案内

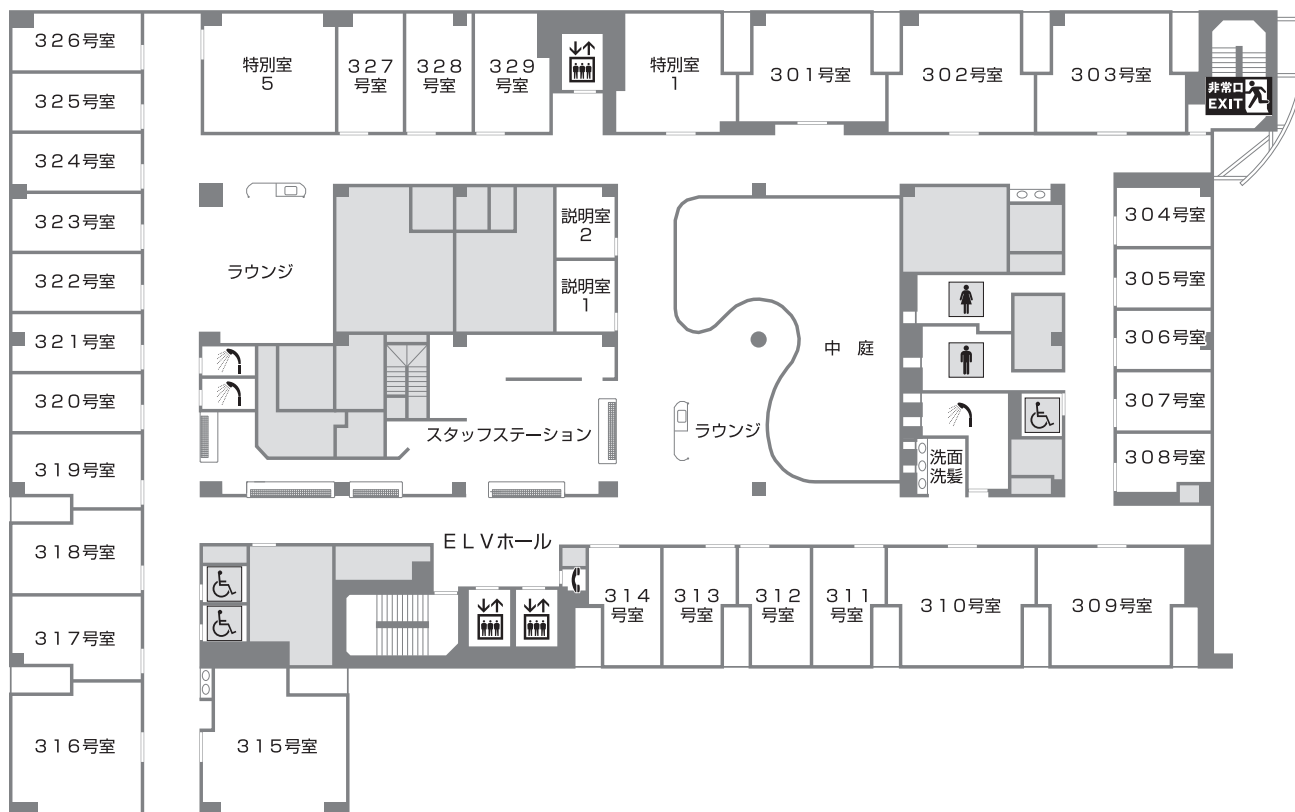
1F



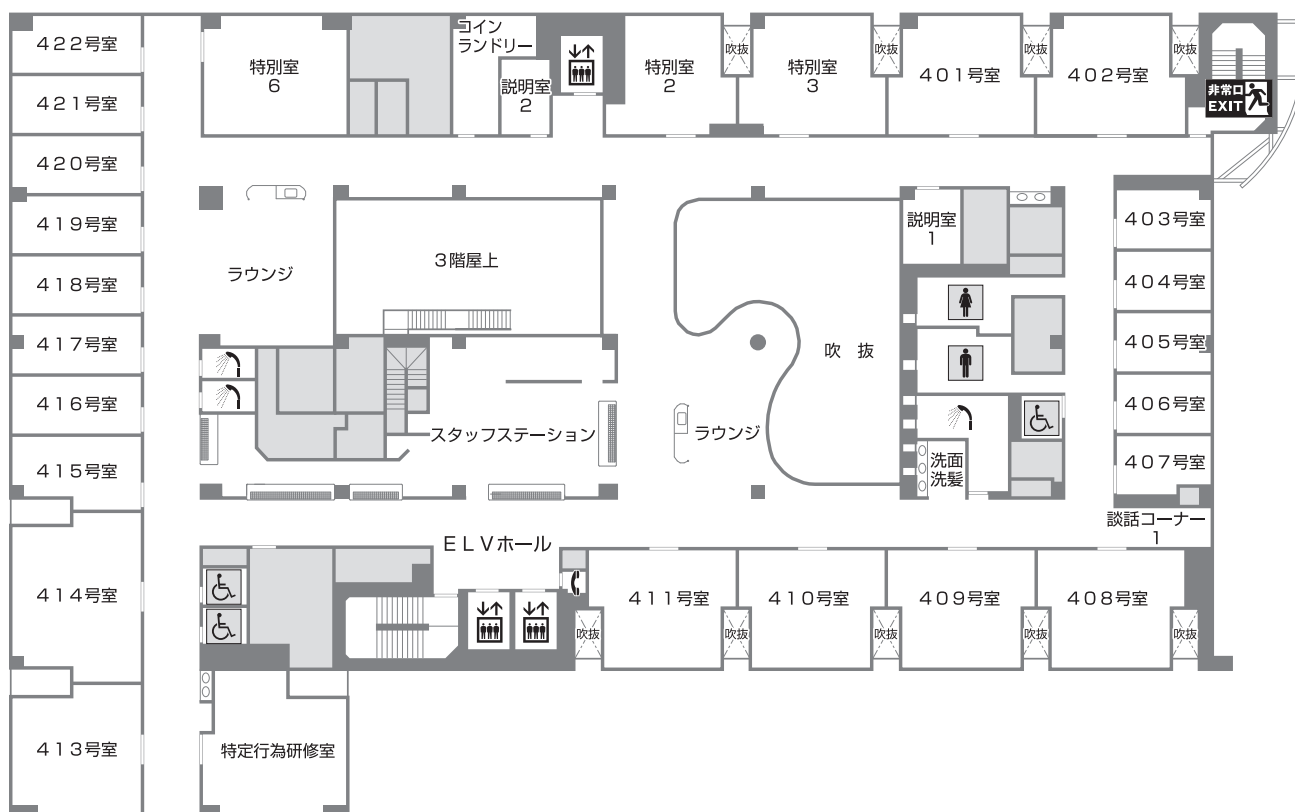
2F



3F



4F



【MEMO】

ID :
氏名 :

入院申込書

患	ふりがな		性別	男・女
	氏名	⑩		
	生年月日	大・昭・平・令 年 日生 (歳)		
	現住所	〒 電話 ()		
	職業			
者	勤務先	名称		
		住所	〒 電話 ()	
	医療費支払相談希望 ☐ 有 ☐ 無			

貴院への入院をご承認ください。
年 月 日

貴院に入院するにあたり、貴院の規則・指示、及び下記の事項を必ず守ることを、身元引受人・連帯保証人をもってお約束いたします。これに違反した場合は、退院を命じられても不服を申しません。

記

- 1. 退院の指示があった場合には、必ず期日までに退院いたします。なお、本人の退院先に問題がある場合など退院が困難なときは、身元引受人が本人を引き取ります。
- 2. 本人一身上にかかわる一切の事項は、すべて身元引受人・連帯保証人において引き受けます。

身元引受人	ふりがな		患者との関係	
	氏名	⑩		
	現住所	〒 電話 ()		
	勤務先	電話 ()		

岐阜ハートセンター院長 殿

(注) この入院 (入所) 申込書は、「申込者」本人が自署する場合は押印は不要です。
但し、それ以外の場合は氏名の右横に押印が必要となります。

切り取り

ID :
氏名 :

連 帯 保 証 誓 約 書

ふ り が な			性 別	男 ・ 女
入院患者氏名				
連 帯 保 証 人	氏 名	株式会社イントラスト		
	住 所	東京都千代田区麹町 1 - 4 半蔵門ファーストビル 2 階		
	電 話	0 1 2 0 - 3 7 2 - 6 0 3		

私（連帯保証人）は、入院料その他の諸費用の全部又は一部が指定の期日までに未納の場合は、連帯してその責任を負うことを誓います。

※患者様の個人情報については院内の規定に基づき対応させていただきます。

※当申込書（兼誓約書）の提出をもって、株式会社イントラストを連帯保証人とする保証委託契約にお申し込みいただいたものとします。

なお、当申込書（兼誓約書）の記載内容等の個人情報については、連帯保証人代行制度の運営に必要な範囲で株式会社イントラストへ提供させていただきますので、予めご了承ください。

病 院 使 用 欄	
連帯保証人書類受理日	受理者

切
り
取
り

I D :
氏名 :

基準寝具貸与返納記録

(寝) 様式 2 号 病棟

品 目	数 量	本日入院に際し左記寝具類を借用しました。 なお退院の際は左記数量を相違なく返納致します。 年 月 日 病院長 殿 住 所 患者氏名
掛 布 団		
毛 布		
枕		
敷 布		
掛 布 包 布		
毛 布 包 布		
枕 カ バ ー		

入 院 年 月 日 (貸与年月日)	年 月 日	退 院 年 月 日 (返納年月日)	年 月 日
管理者	師長	管理者	師長

寝 具 類 交 換 記 録 ※ 基 (基準寝具)

月分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
区分		基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基	基
定期	1 週間												
定期	2 週間												
定期	3 週間												
定期	4 週間												
定期	5 週間												
一 部 交 換													
一 部 交 換													
一 部 交 換													
一 部 交 換													

このカードは病棟別に保管すること。 ◎この記録は日付を記入すること
現在入院中の患者分と退院患者分とに区別保管すること。

切
り
取
り

ID :
氏名 :

手術される患者様

集中治療室 持ち物チェックリスト	自宅で確認 (本人)	前日確認 (Ns)	当日確認 (Ns)	退室時確認 (Ns)
必 須 内 容				
履き慣れた運動靴				
パンツ (下着) 2 枚				
電気カミソリ・充電コード (男性のみ) ※T字カミソリは出血する危険があるため控えてください				
入れ歯				
洗濯物を入れる袋 (3 枚)				
スレショルド (呼吸筋訓練器)				
胸帯 (医師の指示がある方のみ売店で購入)				
その他				
アメニティ A + B + C に申し込みされている方				
必須内容に記載されている物をお持ちください				

手術日に必要な持ち物を、集中治療室に持ち込みますので、入院までに準備をお願いします。

- ☐一つの袋にまとめてください。上記の荷物以外は持ち込めません。
- ☐全ての荷物には名前の記入をお願いします。
- ☐手術前日に担当看護師と荷物の確認を行います。
- ☐荷物は手術室へ行く前に病棟看護師が預かります。

※財布・携帯等の貴重品は、集中治療室に持ち込みができませんので、一旦お持ち帰りいただきます。

切
り
取
り

岐阜ハートセンターの理念は 4つの「S」です。

Safety 安全

医療安全が文化として根づくように
努めます。

Specialty & Science 専門技術

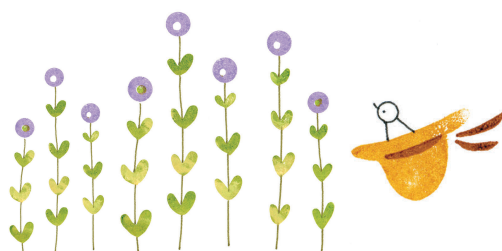
心臓疾患専門病院として、
確かな技術の提供に努めます。
日進月歩の医学の発展に貢献できるように努めます。

Spirit こころ

こころ温まる医療をめざし、
接遇に努めます。

System 体制

24時間365日、
絶対にお断りしない体制の整備に努めます。



医療相談窓口

当院は医療相談窓口を設けています。医療相談窓口では医療に関する相談、生活及び入院上の不安等に対応いたします。
必要な方は受付にお申し出ください。



駐車場144台完備

□公共交通機関のご利用

- JR岐阜駅(北口)及び名鉄岐阜駅より岐阜バスご利用の場合は、県庁前行きまたは、OKBふれあい会館行きで「県庁前」下車、徒歩5分。
- JR西岐阜駅(南側ロータリー)よりくるくるバスご利用の場合は、(岐阜ハートセンター前)下車。
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅(北口)より車で約25分。

□自家用車のご利用

- 名神高速道路・羽島インターチェンジより岐阜方面へ車で約20分。
- 東海北陸自動車道・岐阜各務原インターチェンジより岐阜方面へ車で約20分。

受付時間

- 平 日／8:00～11:30、14:00～16:00
- 土曜日／8:00～11:30

休 診 日

- 土曜日午後／日曜日／祝日／年末年始
- ※一部予約制

循環器内科／心臓血管外科／内科／麻酔科
リハビリテーション科／形成外科

——— 24時間救命救急体制 ———

代表・緊急 **058-277-2277**

岐阜ハートセンター

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南4-14-4
TEL058-277-2277 FAX058-277-3377
E-mail gifu@heart-center.or.jp
URL <http://gifu.heart-center.or.jp/>